

令和元年度病害虫発生予察指導情報
対象病害虫：ナシ黒斑病

令和元年7月25日
鳥取県病害虫防除所

表2 ナシ黒斑病の新梢葉の発病状況(令和元年)

地 区	新 梢 葉 の 発 病 率 ¹⁾ (%)								
	6 月			7 月			9 月		
	本 年	前 年	平 年 ²⁾	本 年	前 年	平 年 ²⁾	本 年	前 年	平 年 ²⁾
河原町	1.4	8.4	1.9 ³⁾	13.4	18.3	9.6			
佐治町	1.5	19.0	2.6	21.9	26.8	7.7			
青谷町	0.5	- ⁴⁾	- ⁴⁾	1.3	- ⁴⁾	- ⁴⁾		- ⁴⁾	- ⁴⁾
八頭町	0	2.4	0.3	0.9	1.7	1.4			
湯梨浜町(別所)	0.5	2.0	1.3	1.0	3.5	1.5			
湯梨浜町(勝負谷)	2.4	0	0.6	4.7	5.6	1.0			
倉吉市	1.3	0	0.3	2.6	2.5	1.4			
北栄町(園試)	1.5	3.8	2.2	23.9	5.2	8.7			
琴浦町	0	1.0	0.7	4.0	9.1	2.6			
大山町(中山1)	0	0	0.2	0.9	0.5	1.9			
大山町(中山2)	1.8	- ⁴⁾	- ⁴⁾	0	- ⁴⁾	- ⁴⁾		- ⁴⁾	- ⁴⁾
南部町	0	- ⁴⁾	- ⁴⁾	0	- ⁴⁾	- ⁴⁾		- ⁴⁾	- ⁴⁾
平均	0.9	4.1	1.1	6.2	8.1	4.0			

(注)

- 1) 1園あたり10新梢について全葉数及び病葉数を調査
- 2) 平成21～30年の平均値
- 3) 平成22～30年の平均値
- 4) 令和元年より調査地点を変更した。

<要約>

新梢葉における発病率は6.2%(平成4.0%)であり、平年に比べてやや多い発生量であった。

<対策>

今後、発病の多い園では、降雨が多い場合には慣行防除に加えて追加防除を検討する。防除薬剤には、有機銅水和剤(キノンドーフロアブルまたはドキリンフロアブル)、アリエッティC水和剤、ベルコートフロアブルなどがある。

令和元年度病害虫発生予察指導情報
対象病害虫：ナシ黒斑病

令和元年7月25日
鳥取県病害虫防除所

表1 ナシ黒斑病の果実における発病率（令和元年）

地 区	ポリ袋検定法による 幼果の発病率 ¹⁾ (%)			被袋果実の発病率 (%) ²⁾					
	本 年	前 年	平 年 ³⁾	6 月			7 月		
				本 年	前 年	平 年 ³⁾	本 年	前 年	平 年 ³⁾
河原町	62.0	2.0	0.7 ⁴⁾	0	18.3	2.2	10.0	30.0	4.4
佐治町	8.0	6.0	1.9	1.7	13.3	2.0	10.0	26.7	5.0
青谷町	1.0	- ⁵⁾	- ⁵⁾	0	- ⁵⁾	- ⁵⁾	1.7	- ⁵⁾	- ⁵⁾
八頭町	0	0	0.3	0	0	0.3	0	0	0.3
湯梨浜町（別所）	3.0	2.0	0.3	0	0	0.2	0	0	0.2
湯梨浜町（勝負谷）	4.0	2.0	0.7	0	0	0.2	0	0	0
倉吉市	1.0	1.0	0.6	0	1.7	0.5	0	0	1.2
北栄町（園試）	2.0	2.0	2.1	1.7	0	2.7	3.3	6.7	9.3
琴浦町	3.0	4.0	0.8	0	0	0.5	0	0	1.8
大山町（中山1）	3.0	1.0	0.8	1.7	3.3	0.5	1.7	0	1.2
大山町（中山2）	3.0	- ⁵⁾	- ⁵⁾	0	- ⁵⁾	- ⁵⁾	0	- ⁵⁾	- ⁵⁾
南部町	2.0	- ⁵⁾	- ⁵⁾	1.7	- ⁵⁾	- ⁵⁾	0	- ⁵⁾	- ⁵⁾
平 均	7.7	2.2	0.9	0.6	4.1	1.0	2.2	7.0	2.6

(注)

- 1) 1園あたり100果について調査(試料採取：4月26日、29日、5月2日、採集後23℃に3日間静置し、発病果率を算出)
- 2) 1園あたり60果について調査。
- 3) 平成21～30年の平均値
- 3) 平成22～30年の平均値
- 4) 令和元年より調査地点を変更した。

<要約>

幼果の平均発病果率は2.2%（平年：2.6%）であり、平年並の発生量であった。